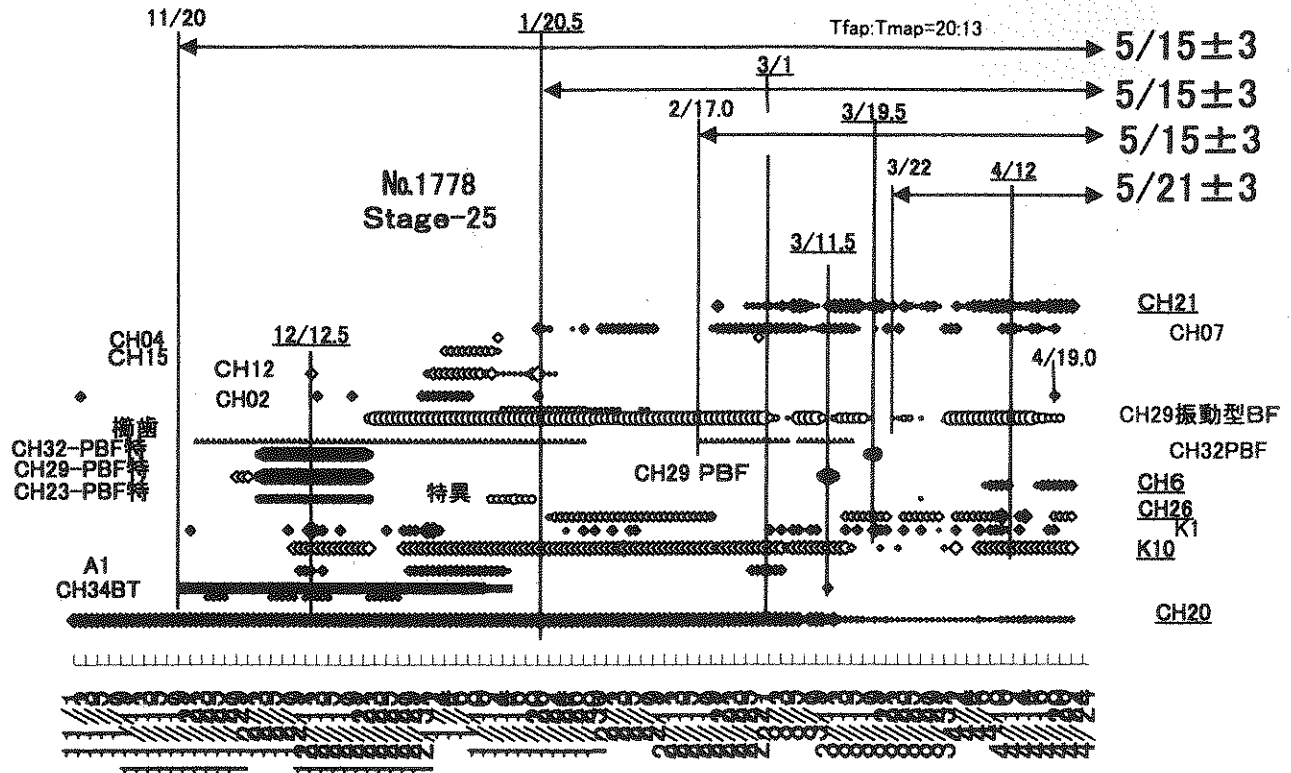


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
 Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期前兆続報 4/22現在前兆継続中 再考中

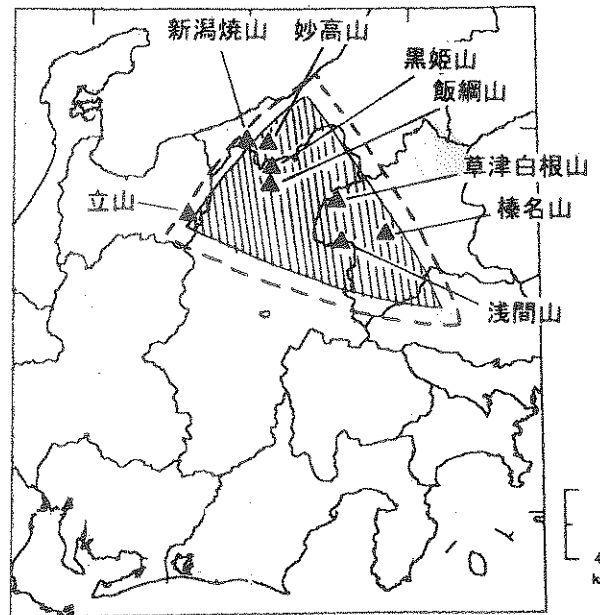


No.1778長期継続特殊前兆の続報です。最も早い場合の可能性として、4/23±の可能性が示唆されておりましたが、表題のとおり前兆は4/22現在継続出現しております。

最終小極大が4/19の可能性もあり、ぎりぎりまで前兆が出現し続ける可能性もありますが、現在継続中の前兆はK10, CH6, 21, 26等で、あまりに多いことから、これらが明日中に終息することは考えにくく、04月中発生の可能性は考えにくい見解です。前回のCH26特異も主・副ではなく、お碗型と再認識しています。

現在の前兆関係認識が誤りである可能性が高いことから、上図のとおり、さらに前兆関係を見直しています。3/11, 4/19等初現～極大の関係が見いだせない小極大もあり、不確かではありますが、上の関係が正しい場合には、05月18日±3時期の可能性も示唆されます。

本日までに明確な前兆終息が認められないため、再考中ですが、5/18±3を支持する前兆終息が今後確認できるか、否か、観測を続け、続報させて戴きます。



- ◆No.1778推定領域=上図斜線内付近 火山近傍の可能性有
- ◆No.1778推定規模=M7.8±0.5 震源浅い陸域地殻地震
- ◆No.1778推定時期=最も早い場合 5月18日±3
※但し今後の観測で修正予定
- ◇No.1778推定時期発生時刻=午前9時30分±1
(又は午後4時±3)